

鶴見区区政会議 令和元年度第1回防災・防犯部会議事録（要旨）

1 日 時 令和元年6月10日（月） 19時00分～20時49分

2 場 所 鶴見区役所 4階 402会議室

3 出席者

（委員）

田中（潔）部会長、西口副部会長、内野委員、岡出委員、早野委員、松原委員、
宮本委員、西村委員

（市会議員）

原田議員

（区役所）

長沢区長、武富副区長、嶋原市民協働課長、尾崎市民協働課長代理、
黒田市民協働課担当係長、家熊市民協働課担当係長、貴田政策推進担当課長

4 議 題

- 1 令和元年度鶴見区区政会議の進め方について
- 2 平成30年度鶴見区取組み実績・評価について
- 3 その他

5 議 事

（1） 議員紹介

（2） 長沢区長開会のあいさつ

（3） 武富副区長あいさつ

（4） 平成30年度第3回全体会における主な意見の紹介

➤ 委員からの質問・意見等

● 特になし

（5） 令和元年度鶴見区区政会議スケジュール（案）の説明

➤ 委員からの質問・意見等

- 特になし

(6) 平成 30 年度鶴見区の実績と評価について説明

☆ 安全なまちづくり

◆ 総合的な防災力の強化

➤ 委員からの質問・意見等

- 各地域の防災訓練参加者が固定化している。避難所開設訓練も必要だが防災訓練を町会など小さい単位で実施すれば関心を持つ人が増えると思う。
 - 参加者の固定化を防ぐという意味では、小さい町会単位の防災訓練も意味があると思うが、実際、大規模災害が発生した場合は地域の避難所開設運営訓練が必要になってくる。
また、地域によっては、町会単位の「まちなか訓練」を実施しているので、要望があれば区役所に伝えてほしい。
- 取組の中に「各地区防災計画の策定」とあるが、ただ訓練を行うだけでなく災害発生時の具体的な避難経路も含めて地区防災計画を策定すれば非常に役立つものとなる。
- 茨田東の市営住宅に「避難場所」と表示があるが、備蓄物資などは何もない状況である。水の備蓄があればよいと思う。
 - 水害時は、垂直避難ということで高い場所に上がって避難してもらうが、長期間にわたるものとは想定していない。また、非常持ち出し袋など自助の協力もお願いしたい。
- 防災訓練時に家具の転倒防止や非常持ち出し品のリーフレットを配布して啓発してはどうか。
 - 平成 30 年度に各地域防災訓練時に区役所のブースをつくり家具の転倒防止などの啓発を行った。今年度も内容を検討し啓発を行っていく。
- 情報化に関して、LINE や Twitter など SNS を取り入れた訓練も考えてもらいたい。
- 防災訓練で学校や事業者と連携した取り組みを考えてほしい。
- 避難場所として団地の空き部屋等を活用できないか。
 - 現在大阪市の災害ワーキンググループで検討されている。
- 台風やゲリラ豪雨時などの避難の周知方法が分かりづらくなっている。区から地域へ情報提供していただくことはできないか。
 - 避難情報の伝え方が、警戒レベルとして 5 段階で伝えられることになった。警戒レベル 1、2 については気象庁が発表するが、警戒レベ

ル3～5については市町村が発令するので、それをもとに避難の判断をお願いするとともに周知にも努めたい。

(7) 平成30年度鶴見区の実績と評価について説明

☆ 安全なまちづくり

◆ 街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり

➤ 委員からの質問・意見等

- 防犯カメラは設置後、地域での管理となる。点検経費が高額になるが1年に1回点検する必要があるのか。また、防犯プレートが非常に小さく抑止効果が低いと思うので、大きくした方がよいのではないか。
 - 耐用年数は6年なので、頻繁に故障するものではないと思うが、点検については、地域管理という点で、地域に任せている。
防犯プレートについては、昨年同様の意見があり今回サイズを大きくした。様々な意見に対応するため、プレートのサイズを選択することができるような取り扱いを検討していきたい。
- 道路と歩道間の植栽が伸びて、交通事故が起こりかねない場所がある。
 - 場所を特定してもらえれば、区から建設局に連絡する。また、今年度も建設局が計画的に大木化した街路樹の植え替え作業をする旨説明を受けている。
- 駐輪場マップを作成する際、駐輪料金を記載してほしい。
- 平成31年2月に設置された防犯カメラが現在も結線されていないのはなぜなのか。
 - 設置事業者の不手際である。6月14日までは結線する予定と聞いている。

(8) 事務連絡